

杉戸宿魅力再発見推進事業

—No.62 杉戸町—

【事業の目的】

日光街道の宿場町として栄えた杉戸宿は、開宿 400 年を迎え、宿場の魅力を再発見する取組を行う中、「杉戸宿」ブランドが創設され徐々に定着をしてくれています。今後も多くの方に杉戸町の魅力を感じてもらうため、杉戸宿に関連した事業を実施し、交流人口の増加を図ります。

【事業の内容】

杉戸宿の歴史や町の魅力をPRしていくため、夏休みこどもスタンプラリーや宿場まつりの開催、杉戸宿に関する刊行物の作成、日光街道埼玉六宿連携事業の実施など、町内外へ杉戸宿の魅力を知ってもらうための事業を実施します。

また、国の地方創生拠点整備交付金を活用し、新たに「杉戸宿魅力発信拠点施設」として、既存施設の建替えを行い、流灯まつりのメイン会場や大型灯籠の工房としての利用、観光関連の常設展示や観光客の休憩スペース、創業支援の一環として定期的を開催するマルシェ会場として利用するなど、年間を通じて切れ目なく活用できる拠点施設として整備します。これらの取組により、杉戸宿をはじめとした町の観光情報や、杉戸産農産物・商品の情報など町の魅力を随時発信していきます。

【事業年度】

平成 29 年度

【予算額(千円)】

73,404千円（平成 28 年度からの繰越 69,000千円）

【財源】

地方創生拠点整備交付金（国）、一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

杉戸町は、平成 28 年に日光街道杉戸宿開宿 400 年を迎えたことを契機に、地域の魅力再発見や魅力創出に取り組み、宿場まつり、まち歩き、グルメ開発など観光客の誘致による交流人口の増加や定住促進を行ってきました。

これまでの取組を生かし、更なる杉戸宿のブランド化を進めるための取組を推進するとともに、その魅力を発信していく拠点を整備し、交流人口の増加や地域の愛着醸成を図り、地域の活性化と移住・定住促進につなげます。

【事業のPRポイント】

○ 日光街道杉戸宿賑わい拡大プロジェクト

杉戸宿まち歩き参加者の休憩場所、大型灯籠などの展示、流灯まつりのメイン会場、創業支援のためのイベント開催などを実施していくため、「杉戸宿魅力発信拠点施設」を建設します。

○ 杉戸宿の魅力発信

杉戸宿を身近に親しむための夏休みこどもスタンプラリーや宿場まつりの開催、宿場の見どころをまとめた刊行物の作成、近隣自治体と連携した日光街道埼玉六宿連携事業などを開催するほか、まち歩き案内人の会による宿場の回遊など、地域住民と一体となって杉戸宿をはじめとした町の魅力を町内外へ発信していきます。

○ マイクロビジネス等の支援

定期的なマルシェの開催や、杉戸産の農産物・商品のPRなどを行い、創業支援の充実や新たな販路の拡大を図ります。

【事業実績・成果・今後の展開】

平成 28 年度は、杉戸宿としてのブランドが確立され、集客イベントに多くの方が参加されたことで大きなPR効果が生じたことから、平成 29 年度においても宿場まつりや近隣自治体との連携事業を開催し、交流人口の増加を目指します。

また、杉戸宿魅力発信拠点施設を活用した事業の実施や、県の「川の国埼玉はつらつプロジェクト」との連携により、杉戸宿ブランドをはじめとした観光情報の充実や、地域住民が主体的に経済活動を行う機会を創出し、地域の魅力を高めていきます。

〔 連絡先 〕

商工観光課 魅力発信担当 0480(33)1111(内線310)